

1. 試験研究推進体系

試 験 課 題 名			試験期間	予算	研究室
Ⅰ. 果樹栽培技術開発					
○	1	ブドウ栽培における気候変動の影響評価と適応技術の確立	R8～12	県単	果樹研
	2	ナシ「ひたち P 3 号」「ひたち P 4 号」の栽培管理技術及び貯蔵技術の開発	R5～9	県単	果樹研・流加研
	3	ナシ黒星病抵抗性品種の農業使用量削減栽培確立	R7～11	特電	生工研 果樹研・病虫害研
○●	4	機械による収穫及び剥皮が冷凍クリの甘露煮加工品質に及ぼす影響の評価	R8	国補	流加研
Ⅱ. 野菜栽培技術開発					
●	1	小玉スイカ新品種の安定生産技術の確立	R5～8	県単（戦略）	野菜研
●	2	スマート農業技術を活用したイチゴの需要に合わせた生育・出荷制御技術の開発	R4～8	県単（戦略）	野菜研
○	3	キャベツにおける小型ドローン空撮画像を活用した生育診断技術開発	R8～10	県単	野菜研
○	4	高温環境下に対応した抑制トマト安定生産技術の確立	R8～11	特電	野菜研
●	5	生育・収量予測を核としたデータ駆動型イチゴ栽培支援技術の開発	R4～8	特電	野菜研
●	6	有機施設葉物野菜の機械移植栽培による生産効率向上技術の開発	R6～8	県単 受託（他）	土肥研
	7	有機栽培における施設葉物野菜の収量安定化に貢献する施肥予測技術の開発	R5～9	特電	土肥研
	8	有機栽培を目指した持続性の高いイチゴ生産技術の確立	R7～10	県単	病虫害研・土肥研
	9	ピーマンに感染するオルトトスポウイルス種の早期診断技術および媒介昆虫アザミウマ類の防除対策技術の開発	R7～10	特電	病虫害研・鹿島
	10	本県主要果菜類のウイルス病の簡易検査キットの開発	R7～10	県単	病虫害研
	11	促成トマト栽培におけるフザリウム属菌が引き起こす立枯れ症の発生実態の解明と防除技術の確立	R7～10	県単	病虫害研
	12	高温期に多発するネギ腐敗性障害の発生要因の解明および総合防除技術の確立	R5～9	県単	病虫害研
●	13	ファージセラピーの開発に向けて！ネギの腐敗性障害の防除素材の探索	R7～8	県単	病虫害研
○●	14	県内のウリ類におけるCABYV による被害及び媒介虫の把握	R8	県単	病虫害研
●	15	促成栽培トマトにおける天敵タバコカスミカメを活用したコナジラミ類総合防除体系の確立	R5～8	国補	病虫害研
Ⅲ. 花き栽培技術開発					
●	1	グラジオラス県育成品種の効率的球根増殖・切り花生産省力化技術の開発	R6～8	県単	花き研
	2	農業副産物を活用した高機能バイオ炭の製造・施用体系の確立～小ギク栽培における高収量化技術の開発	R5～9	受託（国）	花き研・土肥研 ・流加研
○●	3	小ギクにおける気候変動に適応した安定多収生産技術の確立	R8	国補	花き研
○	4	DNAマーカーを活用した白さび病抵抗性小ギク品種の育成	R8～11	受託（国）	花き研・生工研
○	5	高温環境に対応した施設花き安定栽培技術の開発	R8～11	県単	花き研
Ⅳ. 流通加工技術開発					
	1	カンショの高付加価値化に向けたオーガニック栽培技術と特徴ある新品種に適する干しいも加工技術の開発	R4～8	特電	農研・流加研
●	2	クリ果実の長期冷蔵技術と焼き栗の長期冷凍技術の開発	R5～8	県単（戦略）	流加研
●	3	カンショ「べにはるか」輸出拡大に向けた品質劣化要因の解明	R7～8	県単	流加研
Ⅴ. その他（種苗供給事業、品種系統適応性試験、予察事業、新農業効果試験、肥料効果試験、若手枠）					
	1	園芸優良種苗供給事業	S52～	県単	花き研・生工研
	2	果樹推奨品種決定と生態収量予測	H 4～	県単	果樹研
	3	新品種育成普及促進事業－果樹、野菜、花き類の新品種育成及び地域適応性検定試験	H18～	県単	果樹研、野菜研 花き研
	4	農作物有害動植物発生予察事業	S43～	国補	病虫害研
	5	新農薬の病虫害防除効果試験	単年継続	受託（他）	病虫害研
	6	高品質な干しいも生産に向けた加工品品質の解明	R5～9	受託（他）	流加研
	7	問い合わせ対応による課題解決と研究開発ニーズ集積の自動化： 輸出促進を目指す新たな農産物流通知識シェアリングシステムの開発	R7～9	受託（国）	流加研

○印：新規課題 ●印：完了課題